

パウドン エリ (家族宿舎)

中国(新疆ウルムチ市)
千葉大学人文社会科学研究所 公共研究専攻



専攻科目の選考理由と将来の目標について

私はウイグル自治区の大学を卒業してから政府管轄の機関で勤め、約一年間の勤務後にやはり何か自分には足りないと感じ、将来への夢を抱き、この日本への留学を決めた。

私が日本に留学してきて国際経済学を選んだ理由は、大学での4年間の行政管理兼社会主義経済学を学び、そして新規社員時代に日本経営や行政管理システムが、中国はもとよりウイグル自治区にさえ導入し始めたことである。真の日本の行政管理システム、特に資本主義経済についてもっと研究したい、将来ウイグル自治区で資本主義経済が分かる経済学者としてウイグル自治区の経済発展に貢献したいという思いだった。そして、2000年4月に、ウルムチ空港で両親の「私の家までの帰り道が短いけれど、あなたの留学の道は果てしなく長いよ」という意味深い言葉を身に沁みて感じ、日本という国へ自分の希望を叶わせるためにやって来た。

飛行機を降り立って成田国際空港を出た瞬間に、満目の緑色、ゴミひとつない道路、澄み渡った青空、新鮮な空気、礼儀正しい人々の優しい笑顔……。私にとってそれらがすべて成功への兆しだった。しかし、日本社会で生活をしていく内に、厳しい現実と直面することになった。

日本語学校の一年間に日々日本語の勉強、アルバイト、大学院への受験勉強等に追われ、全く余裕のない生活を送り続けた。こうして家族を離れ、異国他郷に身を置き、初めて家の大切さを感じるようになったが「どんな時でも将来への夢を諦めてはいけない」と、ある先生からの励ましの言葉、「勤勉な努力をすれば、必ず報いられる」バイト先の店長からの激励などを思い出して、自分の努力の源としたのです。そして、日本で資本主義経済をゼロから勉強したいという強い思いが学部生から再スタートさせた。4年間の努力を経て千葉大学の大学院に入学することができた。この四年間で分かったことは、生活の中では、すべて順風満帆ではなく、苦境に陥っても焦らず、諦めず、すべてが努力と継続を積み重ねるということでした。その中から時に何を考え、何を学んだかというやはり、生きる喜びを噛み締めるために挑戦を止めない魂であり、目標を実現するためにあらゆる困難と闘い抜く情熱を持つことでした。

今まで日本社会は資本主義と言いながら実際日本全国どこへ行ってもあまり格差が見られない政策を実施してきた。その政策のお陰で日本は世界の最も豊かで、格差

が最も小さい国になった。しかし、この豊かな環境の中で人間の情性がだんだん現れてきたように思う。私は一部の大学生から「私は別に何もしなくてもすんなりと生きていける」と聞いたことがある。そうすると、人間の働き、物事に挑戦する意欲がなくなっていく為、社会全体の活力を失っていくのは当然のことではないのでしょうか。即ち、社会悪平等をやめて、人々の個性を生かし、実力主義で競争をさせるのです。激しい競争の中で、新しいものを次々に創造していくことができる。

一方、中国はちょうど逆の状況にある。社会主義でありながら実質的に市場経済政策を実施している。特に、鄧小平氏の改革開放政策が実施されて以来、社会の活力が著しく進み、急速な発展を遂げてきた。しかし、現在地域格差の拡大が社会不安の一因になった。中国政府はこの点に気づき、西部大開発等の政策で地域格差を縮めようとしている。だが、従来悪平等に戻るわけにはいかない。社会全体の活性化を考慮しながら格差を縮小するしかない。その点では現行の日本の政策が参考になると思われる。「失われた10年」と言われる現在の日本社会では、こうしたベンチャー起業精神は経済回復や更なる発展の原動力になると思う。大手会社の改革はどんどん進み、「柔軟で風通しのいい個人本位の経済社会」にも変わりつつある。「夢」と「志」を持つ人の起業もだんだん多くなっている。起業精神が盛り上がれば、高い技術力を持つ日本社会はいつか必ず回復し、更なる発展を遂げると私は固く信じている。

また、自分自身もたとえ時代・国が違っても、いつまでも絶えず困難と戦いながら、物事に拘りなく新しいものに挑戦していく精神が必要だと再認識させられた。これからも自分の夢に向かい、自分の選んだ道を信念を持ってしっかりと歩み、最大限の努力とチャレンジをし、新しい人生を切り開きたいと考えている。

故に、本来二年間の修士課程を優秀な成績で卒業して、完璧な経済学者になるために博士課程まで行くつもりだったが、昨年の3月に子供が生まれたことによる経済的な問題の下では、勉強時間よりもアルバイトの時間がオーバーしてしまう見込みが強いので、今年の2月から就職活動をする事を決定した。出来れば日本で学んだ知識を活かして、日中(新疆ウイグル自治区)間の架け橋的な役割を遂げる仕事につくことができれば、これより大きな喜びはないと思っている。

OSF 2008年度前期行事予定

5月 17日、18日	奨学生一泊旅行(南房総)
5月 21日	会館生例会
6月 11日	役員会
6月 13日	奨学生例会
6月 18日	会館生例会

7月 6日	会館OB会(バーベキュー)
7月 15日	奨学生例会
8月 5日~7日	広島原爆慰霊祭参加
8月 上旬	鴨川海水浴
9月 11日	奨学生例会
9月 17日	会館生例会